

TGA TGG GCCCAGCA

2005～2006 スケジュール

8/26
Fri

第1回
宇宙にも雷
～雷雲上方の発光現象の発見～
福西 浩 (東北大学大学院理学研究科 教授)

9/20
Tue

第2回
ニュートリノは面白い
～ニュートリノ地球科学の創始～
鈴木 厚人 (東北大学大学院理学研究科 教授)

10/17
Mon

第3回
自然の驚異
～2004年スマトラ地震・津波～
今村 文彦 (東北大学大学院工学研究科 教授)

11/21
Mon

第4回
地震予知研究の最前線
長谷川 昭 (東北大学大学院理学研究科 教授)

12/9
Fri

第5回
メディアリテラシーってなんだろう？
～あなたとメディアの関係～
飯田 邦子 (東北大学大学院情報科学研究科 講師)

1/27
Fri

第6回
数学は面白い
～自然のなかの形を決める原理～
小谷 光孝 (東北大学大学院理学研究科 教授)

2/17
Fri

第7回
ストレスってなんだろう？
～脳科学の最新の成果～
井植 慶一 (東北大学大学院情報科学研究科 教授)

3/17
Fri

第8回
遺伝子医療の最前線
～遺伝子はからだの設計図～
松原 洋一 (東北大学大学院医学系研究科 教授)



コーヒーを片手にサイエンスを語ろう！

東北大学サイエンスカフェ ー入場無料ー

その場での参加自由！市民の方、中高生、大学生、企業の方、メディアの方、親子での参加歓迎！

会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア/カフェ

時間：18:00～19:30

お問い合わせ：東北大学広報課 tel.022-217-4316

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/cafe/>



Science Café in Sendai

コーヒーを片手にサイエンスを語ろう！

「サイエンスってむずかしい」、「質問したいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない」。

サイエンスカフェとは、そう思っている人たちと科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、サイエンスの楽しさと社会貢献の姿を知ってもらう場です。せんだいメディアテーク1階のオープンスクエア/カフェを会場に、毎月1回のペースで開催します。予約なしに、無料で、誰でもその場で自由に参加できるスタイルです。

職場での仕事や学校が終わってから参加できるように、平日の18:00~19:30に開催します。

市民の方、中高生、大学生、企業の方、メディアの方の参加をお待ちしています。

最初の30分は、取り上げた話題に関する最新の研究成果を一人の講演者が分かりやすく紹介します。

次の30分は、ラウンドテーブルごとの議論の時間とし、それぞれのテーブルに東北大学の教員・学生が参加し歓談します。

最後の30分は、全体的な質疑応答の時間とし、ラウンドテーブルでの歓談で出た質問に講演者が答えます。

サイエンスカフェの活動は1998年にイギリスで始まり、ヨーロッパ・アメリカで急速に普及しつつあります。

日本では東北大学が今回始めて本格的な活動を始めます。これまでの講演会にはない新しいサイエンスコミュニケーションの場を演出しますのでお楽しみください。

プロフィール

Scientist Profile

福西 浩 (東北大学大学院理学研究科 教授)

南極観測には4度参加し、越冬隊長や夏越冬隊長も務め、研究室からは初めて女性越冬隊長をはじめ多くの学生を南極観測隊に送り出しています。南極上方の磁場発光現象のバイオニアとして、この分野で世界をリードする多くの研究成果をあげています。

今村 文彦 (東北大学大学院工学研究科 教授)

津波防災技術の開発や津波襲来時の住民避難シミュレーションなどで大きな成果をあげています。国の中央防災会議専門調査会のメンバーでもあり、2004年スマトラ沖地震・インド洋大津波の発生後、世界中で現地調査や復興のアドバイスを行っています。

坂田 邦子 (東北大学大学院情報科学研究科 講師)

メディア・コミュニケーション論を専門とし、メディアリテラシーと異文化理解についての実践的な研究を行っています。アジアの大学と共同で映像制作を行うプロジェクトや、地域の大学をつないでTV番組を制作し、それを使って交流するプロジェクトなど幅広く活躍しています。

井樋 慶一 (東北大学大学院情報科学研究科 教授)

からだを制御するのに必要な「ホルモン調節のしくみ」の研究を専門とし、ストレスと脳のほたらきについて大きな成果をあげています。ストレスはすべての人の関心事であることから、専門以外の人々への理解を促し、社会に役立てるための幅広い活動をしています。

鈴木 厚人 (東北大学大学院理学研究科 教授)

東北大学の副学長として大学の運営に関わっていますが、研究面では神岡鉱山の地下に「カムランド」を建設し、わが国のニュートリノ科学のリーダーとして活躍しています。また最近ネイチャーに「地球ニュートリノ検出」を発表し、世界の注目を集めています。

長谷川 昭 (東北大学大学院理学研究科 教授)

地震波自動処理システムや二重深発地震面の発見に始まり、最近のプレート境界地震のアスベリティモデルの検証など、世界の地震学をリードする多くの研究成果をあげています。科学技術・学術審議会の地震学分科会地震部会会長などの役職も務めています。

小谷 元子 (東北大学大学院理学研究科 教授)

微分幾何学を専門とする新進気鋭の数学者です。自然のなかの形の研究で大きな成果をあげており、自然科学の分野で優れた研究業績をあげた女性研究者に贈られる「数橋賞」の本年度の受賞者です。また「英立共同芸術推進」でも活躍しています。

松原 洋一 (東北大学大学院医学系研究科 教授)

病気に関連する遺伝子の研究を専門とし、とくに小児科領域の遺伝性疾患を対象に、その診断、病態解明、治療などの研究で大きな成果を上げています。また東北大学病院の遺伝科外務では、「遺伝カウンセリング」を中心とした遺伝子診療に力を入れています。

講演内容はホームページをご覧ください

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/cafe/>